学校番号	309

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子どもの発達と保育 新訂版　」　（実教出版）						
副教材等	「最新 生活ハンドブック 2019 資料&成分表 」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を中心に、子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する基礎的な学習をしていく。
できるだけ、多くの実習をとり入れることで、より学習を深めたいと考えている。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め適切に判断し創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 実習レポート 自己評価など	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 実習レポート 定期考査の結果 自己評価･相互評価など	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 作品 実習レポート 定期考査の結果 自己評価・相互評価など	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 実習レポート 定期考査の結果など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	子どもの発達の特性	乳幼児期の大切さ	○				a: 乳幼児期の子どもに関心を持ち、子どもを守るための人権意識を重視する姿勢がある。	・観察 ・ノート
		発達と環境		○			b: 子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し、簡潔な文章でまとめている。	・観察 ・ノート
	子どもの発達の過程	胎児、乳幼児期のからだの発育	○			○	a: 胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高めている。 d:乳幼児の身体的・生理的特徴に関する知識を身につけている。	・観察 ・ノート
		乳幼児のおやつ 調理実習			○		c: 乳幼児の食事の特徴をふまえて、子どものおやつを作っている。	・観察 ・レポート
		子どもの精神発達の特徴				○	d:子どもの精神発達の特徴と発達の経過について理解している。	・観察 ・ノート ・定期テスト
		人間関係の発達		○			b:愛着関係形成のためには、どのような関わり方がよいか考えを説明している。	・観察 ・ノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2	子どもの生活	生活と養護				○	d: 子どもの食生活や衣生活に関する知識を身につけている。子どもの安全と快適さという視点から必要な育児用品を選択している。	・観察 ・ノート
		乳幼児の食事　調理実習			○		c: 乳幼児の食事の特徴をふまえて、子どもの食事を作っている	・観察 ・レポート
		子どもの遊び		○		○	b: 子どもには遊びが大切である理由を述べている。 d:子どもの主体性を育てる遊びの援助について考えている。	・観察 ・ノート ・絵本製作
		生活習慣の形成			○		b: 子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について理解を深めている。	・観察 ・ノート
		健康管理と事故防止	○			○	a: 子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴について理解している。 d:子どもにおこりやすい事故を予測し、対策を考えている。	・観察 ・ノート
	子どもの保育	保育の意義と重要性	○				a: 子どもの保育に対する関心と課題意識を高めている。	・観察 ・ノート ・定期テスト
3		家庭保育と集団保育		○		○	b: 子どもの心の育ちを考えて保育の今後の課題を述べている。 d:集団保育の意義と形態、保育内容の要点をまとめている。	・観察 ・ノート
		保育の方法			○		c: 保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわっている。 d:保育実習の記録をまとめ、成果を発表している。	・観察 ・レポート
	子どもの福祉	子どもの福祉	○				a:子どもの幸せとは何かを考えている。	・観察 ・ノート
		子育て支援		○			b: 子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えている。	・観察 ・ノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。